

内シャント造設術を受けられる方へ

秋田大学医学部泌尿器科

血液透析を行うには、人工腎臓に毎分200mlの血液を通すために同量の血液を体外に導き出す必要があります。普通の血管に針を刺しても毎分200mlの血液を採ることは難しいため、手の血管に特別な仕掛け（内シャント）を造る必要があります。これは継続して血液透析を行うには必要不可欠のもので、これを行わない場合、体の太い静脈（内頸静脈、鎖骨下静脈、大腿静脈など）にカテーテル（細い管）を挿入し血液透析を行わなくてはなりません、2週間ほどで必ず細菌感染を起こし、敗血症から生命に関わる可能性があります。

【内シャント造設術】

手の表面の静脈に大きな血流を流すため、基本的には利き手の反対側の親指の根元の付近で局所麻酔で約2-3cm切開し、とう骨動脈という動脈と、とう側皮静脈という静脈を結び合わせます。手術時間は約1時間30分位です。

【内シャント造設術の合併症】

手術の際、細心の注意をはらい安全に努めますが、まれに以下のような合併症が起こります。

麻酔薬により血圧が急激に下がることがあります。（以前に抜歯などでそのような経験をおもちの方は必ずお話しください。）

動脈、静脈を剥離するときに、血管を損傷することがあります。このような場合、別の場所で切開し直す必要があることがあります。

切開した傷に細菌が感染し傷が開く場合があります。またその場合、後から出血を来す場合があります。

親指の根元の神経を損傷することがあります。このような場合、親指周辺の感覚がなくなったり、ごく稀に手の麻痺を来す場合があります。

手術中にシャント血管に血流が流れない場合、別の切開で上流に造り直す場合があります。また、手術後数時間～数週間で血流がなくなってしまう場合があります、この場合も別の切開で上流に造り直します。

どうしても血流の得られる内シャントが造れない場合は、人工血管を使った手術や腹膜透析をお勧めせざるを得ない場合があります。

このような合併症が生じた場合には、薬剤の投与、輸血、追加の処置、手術を含めて最善の処置をおこなうことによりほぼ全例で回復可能です。

内シャント造設術

私は 年 月 日に予定されている内シャント造設術について、下記の医師により説明を受け理解しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

患者氏名 (自署)

代理人 (自署)

(続柄)

説明者

秋田大学医学部泌尿器科

医師 (自署)